

緑のカーテンの育て方

緑のカーテンに
必要なものは？

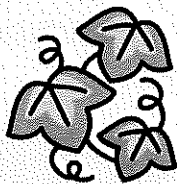


何を準備したら
いいのかしら？

ツル性植物の苗や種

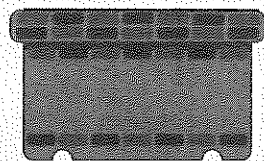
アサガオ、ゴーヤ、ヘチマ、フウセンカズラなど

近年、パッションフルーツやメロンなども人気です。



プランター（直植えができない方）

実がなる植物の場合は、できるだけ深めのプランター（野菜用など）で育てるのがおすすめです。



土

育てる植物によって、土の種類も変わります。

培養土や腐葉土など、いくつかの土を混ぜるとよいでしょう。

肥料

環境にやさしい有機肥料を選びましょう。

植え付け時に必要な肥料（元肥）と、育成に必要な肥料（追肥）があります。

ツルをはわせるネット

10cmの網目サイズがおすすめです。設置場所によっては支柱も必要です。

害虫対策

人にも環境にもやさしいものを選びましょう。



その他の道具

ジョウロ

スコップ

軍手

エプロン

園芸用テープ

など



ゴーヤによる

緑のカーテンの育て方

ここでは、緑のカーテンによく使われるゴーヤを例にとって説明します。

①土づくり【1ヶ月くらい前から土と肥料を混ぜて熟成させておくと元気に育ちやすくなります】

- (1) プランターは野菜用の深いものを準備して、底に鉢底石をしきます。
- (2) プランターの縁から1~2cmの深さまで土を入れます。
- (3) 直植える場合は、よく土を耕し柔らかくしておきましょう。

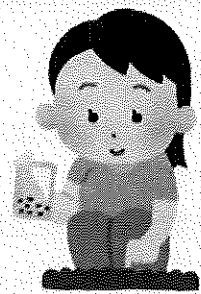
*ふるいに掛けて、ふるいに残った赤玉土5：黒土2：ピートモス1：バーミキュライト1：腐葉土1の配合で混ぜた土がおススメです。

*市販の園芸土に苦土石灰を混ぜても作れます。「ゴーヤの土」も売られています。

*ゴーヤは中性~アルカリ性の土を好みますので、カキガラや卵の殻、アサリやシジミの殻を砕いたものを入れてもよいでしょう。苦土石灰も有効です。

②種まき

*タネから育てる人は、「上手なタネの発芽法」を参考にしてください。



③苗の定植

- (1) 苗を購入(入手)した人やポットで育てた人は、本葉が3~4枚程度になったら定植します。

注意点は

- ・ポットの底の根をきずつけないように土ごと植え替えましょう。
- ・株の間はできるだけ離しましょう。(50cm以上を目安に)
- ・双葉の下は3cmくらい、土から出るように。
- ・植え替え後、土を叩いて固めないようにしましょう。



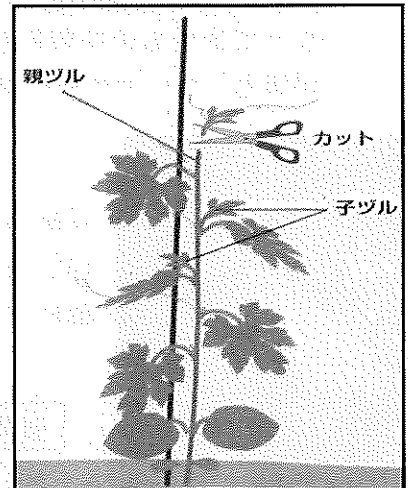
④ つるが伸びたら

(1) 本葉が5枚程度になったら親づるを摘芯して、子づるを伸ばします。子づるも摘心すると孫づるが伸びます。

*ゴーヤの実は親づるより子づるや孫づるのほうになりやすいようですから、子づる・孫づるを増やすことによって収穫量を増やすことができます。

(2) ネットなどを用意して、つるが巻き付くことができるようにしてあげましょう。つるが上手に巻きついていないときは、園芸用テープなどでネットに結んで助けます。

(3) 子づるは上にのぼさずに、できるだけ横に伸びるよう誘導しましょう。なるべく早い段階で、必要となるネットの横幅まで広げましょう。



*つるはまっすぐ上に伸びようとします。初めの段階で伸びてきた子づるをしっかり横に誘導して広げておかないと、根元がスカスカのカーテンになってしまいます。注意しましょう。

右の写真は初期の段階で摘心・誘導が足りなかったために、まっすぐネットの上部までのびてしまい、つかまるところのないつるがネットの上部で絡み合っている状態です。



(4) 必要な高さまで伸びたら、子づる・孫づるの先端を切ります。

⑤ 花が咲いたら

(1) ゴーヤには雄花と雌花が咲きます。初めのうちは雄花しか咲きませんが、後から雌花が咲いてきます。自然に虫が受粉をしてくれますが、違う株の雄花の花粉を雌花に人工受粉させるとよい種を取ることができます。人工受粉は、筆の先に花粉をつけて行う方法がありますが、直接雄花を摘み取り雌花に受粉させても構いません。

*2週間に1度くらい、有機肥料をあげるとよく育ちます。

*ゴーヤは水をよく吸うので、水やりをこまめにしてあげましょう。特にプランターは乾きやすいので注意が必要です。



- (2) 開花して2～3週間ほどで収穫できます。ゴーヤの種類は「太れいし」や「長れいし」などいろいろありますので、太さや長さで判断せず、いぼの谷間の色やお尻あたりの色が薄くなってきたものを収穫します。残念ながら黄色になってしまったゴーヤは歯ごたえや栄養価が落ち、ゴーヤ本来の苦味もありますが食べることはできます。また、赤くなった種の周りは甘く、食することができます。



*黄色になったゴーヤはそのまま完熟させて、来年用の種を収穫することができます。黄色になってしまったゴーヤをそのまま追熟させると、実が割れてしまい種が落ちますので、袋や網をかけるなど工夫しましょう。

黄色になり割れてしまったゴーヤ

⑥片付け

- (1) 秋口涼しくなったら、種を取り風通しのよい冷暗所で種を乾かし、乾燥したら手のひらでやさしくこすって種についた汚れを落とします。密閉容器に入れて、冷蔵庫などに入れておくとよいでしょう。また来年、この種で緑のカーテンを作りましょう。
- (2) ネットを片付けます。緑のカーテンはそのまま取り外すと重量があり、つるも絡んでいるので取り扱いが大変です。初めに根元を切って数日放置しておきましょう。つるをよく乾燥してから外すと外しやすくなり、つるの処分も簡単になります。ネットは来年も利用しましょう。

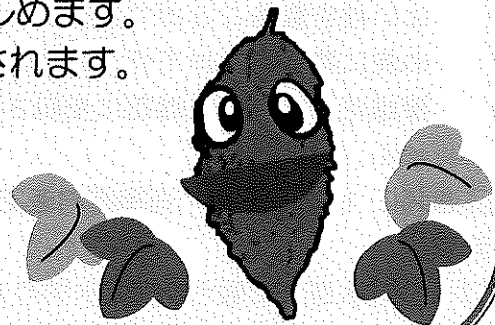
【「緑のカーテン」は癒し効果満載です！】

緑のカーテンがあると、太陽の日射をさえぎることができ、バルコニーなどの床や壁の温度上昇を抑え、部屋の中へ侵入する熱をやわらげることができます。

このほかにも、緑に囲まれることで視覚に優しく、葉の揺れる音や蜂たちの羽音に聴覚でなごんだり、花の匂いに嗅覚を刺激したり・・・もちろん、果実のなる植物であれば、味覚も楽しめます。

何よりも緑に囲まれて過ごすのは、心が癒されます。

皆さんもぜひ取り組んでみてください！



※緑のカーテンハンドブック（NPO法人緑のカーテン応援団）を基に、船橋市役所に送られた「緑のカーテンコンクール」の「観察記録」から、その体験談をまとめました。

上手なタネの発芽法

ゴーヤのタネは堅い皮に包まれているので、発芽には

「コツと根気」

が必要です。以下のポイントをよく読んでから挑戦してみてください。



撒き時期

発芽適温は 25 度以上です。気温が低いと発芽しません。平成 27 年度の船橋市の統計では、

| | 最高気温 | 最低気温 | 平均気温 |
|-------------|------|------|------|
| 平成 27 年 4 月 | 24.3 | 1.5 | 14.0 |
| 5 月 | 32.2 | 11.3 | 20.6 |
| 平成 26 年 4 月 | 22.3 | 5.2 | 14.0 |
| 5 月 | 31.0 | 9.5 | 19.2 |

(船橋市統計)

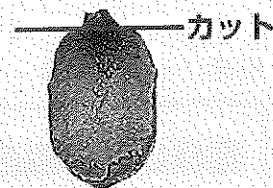
となっています。室内の温かいところで発芽させましょう。

タネの下処理

① 先端をカット・・・これが発根のコツ！

タネをよく見ると片方の先端がとがっています。

このとがった方を爪切りなどで少しカットします。この時、中の緑の部分を傷つけてしまわないように注意してください。タネの中に水分が浸透するようであれば大丈夫です。



② ヒタヒタの水につける

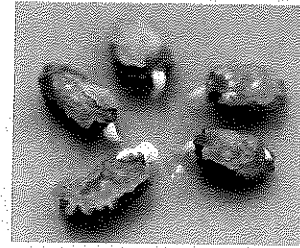
小皿に水を張り、タネを入れて発根を待ちます。この時のポイントは「ヒタヒタの水」。タネも呼吸していますから、タネ全体が水にかぶってしまわないように。水が多すぎるとカビが生えたり腐ったりしてしまうことがあるそうです。逆に水が少なくなったら、浸る程度に水を足してください。

多すぎず、少なすぎず、根気よく見守ってください。



根が出るのを待つ・・・根気よく待つ！

5月でも平均気温は10度台ですから、発根するまでは暖かい室内で管理するかビニールをかけるなどして、25度以上を目標にした環境をつくってください。台所やリビングなどに置いておくのもよいかもしれません。ただし暗いほうが発根しやすいようです。



この状態で1日以上、できれば2日～1週間程度おき、タネから根が出るのを待ちましょう。

しかし、気温が25度以下の場合は発根まで1週間以上、中には1か月かかった人もいます。水の量に気を付けながら根気よく待ちましょう。

とは言え、この状態で根が出なくても「ダメもとで植えたら芽が出た！」という方もいらっしゃいました。あきらめずに挑戦してください。

種蒔き

発根したタネは根を下にして土に植えます。深さは1～2cm程度。あとは発芽を待つだけです。そしてこの時も気温が大事。なるべく25度以上を保つよう暖かい場所で管理をしてください。そのためには直接地植えするより、ポットなどに植えた方が管理しやすいでしょう。

およそ1週間から10日ぐらいで芽を出します。

定植

本葉が3～4枚程度出そろったら、定植の時期です。



最後にインターネットからの引用ですが…

発根しない原因のトップ3

第1位：温度が低い。……25度以下では発根に時間がかかります。時間がかかりすぎると、種にカビがはえたり、腐ってきたりしますので要注意です。

第2位：ゴーヤの種を浸す水が多すぎる。……種は平らに、上面が水面から出るように。

第3位：ゴーヤの種の先端を切りすぎている。……殻のみを切り、種の中を傷つけないように。

だそうです。上手に発芽させて、「緑のカーテン」を作りましょう。

緑のカーテンコンクールへのご応募お待ちしております！

平成28年度

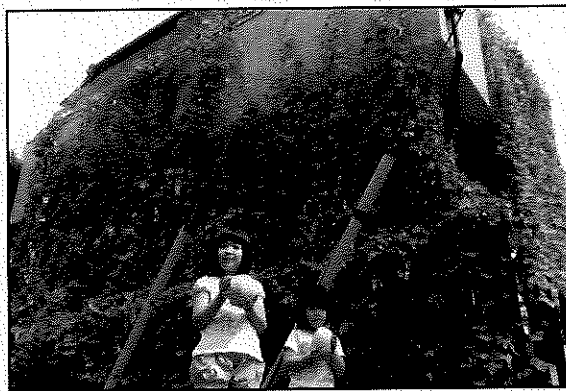
緑のカーテンコンクール

参加者募集!

夏の節電対策として、船橋市及び船橋市地球温暖化対策地域協議会(ふなエコ)では毎年「緑のカーテンコンクール」を行っています。昨年は140件の参加があり、個性ある取り組みが紹介されました。

涼しい夏を過ごすために、また温暖化防止のためにも緑のカーテンを育てて、コンクールにご参加ください。

多数の方のご応募、お待ちしております!



平成27年度 市長賞
個人の部 渡邊 千春 様

応募方法

対象

船橋市内で緑のカーテンを育成した方。

お出しいただくもの

1. 平成28年度「緑のカーテン」観察記録(様式有り)
2. 写真(全体が映っているものと御自身のお気に入り写真、合計2枚をお願いします。)

提出方法

提出は観察記録と写真を下記まで、郵送・Eメール、またはご持参下さい。

提出期限

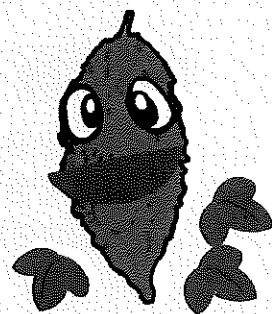
平成28年9月9日(金曜日)

審査結果の発表

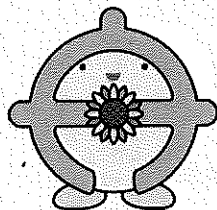
平成28年10月下旬に入賞者にご連絡いたします。
また、市のホームページにも掲載いたします。

表彰式

平成28年11月12日(土曜日) 船橋市中央公民館 6階講堂
入賞者には、賞状と賞品の授与があります。



ゴーヤのたっちゃん



ふなわりくん

問合せおよび提出先

〒273-8501 (住所不要)船橋市役所 環境政策課
「緑のカーテン」係
TEL 047-436-2465
電子メールアドレス ondanka@city.funabashi.lg.jp

受賞作品をホームページにて公開中!ご覧ください。

(「船橋市 緑のカーテン」で検索してください。)

緑のカーテンを育てた

みなさんの声を聞かせて！

暑い夏を涼しく過ごせるよう、今から準備して育てていく緑のカーテン。みなさんひとりひとりに、それぞれのカーテンが、いろいろな物語を作りながら育っていくことでしょう。楽しみですね。

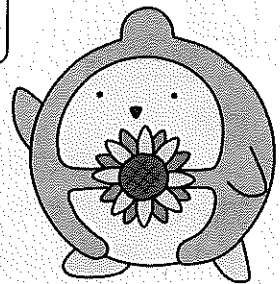
船橋市と船橋市地球温暖化対策地域協議会（ふなエコ）では、この「緑のカーテン」を育てたみなさんの声（感想）を募集します。

- ・楽しかったこと
- ・苦労したこと
- ・工夫したこと
- ・失敗してしまったこと
- ・家族間での（またはご近所さんとの）エピソード
- ・地球温暖化について考えたこと

など何でも結構です。

みなさんの声は温暖化防止活動の参考にさせていただくほか、来年以降「緑のカーテン」を育てる方のアドバイスとして活用していただけるよう、ホームページ上で紹介します。

愚痴も聞きますよ！
たくさんつぶやいてね



応募方法

- ・平成28年度「緑のカーテン」観察記録用紙をご利用ください。
- ・記入できる欄だけで結構です。感想欄にみなさんの声を自由にお書きください。
- ・平成28年9月9日（金曜日）までに郵送・FAX・Eメール、またはご持参下さい。

問合せおよび提出先

〒273-8501（住所不要）船橋市役所 環境政策課
「緑のカーテン」係

TEL 047-436-2465

FAX 047-436-2487

電子メールアドレス ondanka@city.funabashi.lg.jp

ご自慢の緑のカーテンが育成された場合は、写真を2枚添付して「緑のカーテンコンクール」に応募することもできます。詳しくは表面をご覧ください。

| | |
|--|--|
| <p>★感想 (気に入っていると ころ、苦労したこ と、工夫したこと、 失敗談、エピソード など)</p> | |
| <p>★自由意見 (温暖化について の意見、写真添付 の方は写真の説明 など)</p> | |

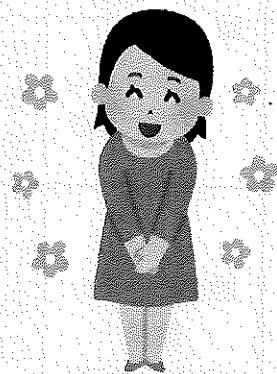


【ここからの記入は自由です。】

昨年、皆様から寄せられた観察記録に以下のような質問がありました。皆様の中に良いアイディアや対策方法がありましたら、教えてください。

- ① ゴーヤのレシピが少ない。おすすめ料理を教えてください。
- ② ベランダでネットを張りたいが、固定できない。
- ③ 連作障害のせいかな、年々実成りが小さくなる。

() について



ご記入ありがとうございます。
頂いた回答はホームページで紹介させていただきます。

**ご提出
お問合せ**

〒273-8501 (住所不要) 船橋市役所 環境政策課 「緑のカーテン」係
TEL: 047-436-2465 FAX: 047-436-2487
電子メールアドレス ondanka@city.funabashi.lg.jp